

EA905EC-210A・EA905EC-270A・EA905EC-330A
(ユニバーサルハシゴ兼用脚立)取扱説明書

※EA905EC-270Aは廃番です。

Ver.1.1

この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。

下記の注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用条件について



警告

- **身体が下記の状態のときは、使わないでください。**
 - ・疲れているとき
 - ・病気や妊娠しているとき
 - ・薬やお酒を飲んだとき
 - ・身体に異常を感じる時身体バランスが保てず、転倒や転落の恐れがあります。
- **お子様や取扱説明書の内容が理解できない人には、使わせないでください。**
この製品の取扱説明書には、安全に使用する上で、特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと、危険です。
- **作業に適した服装で使ってください。**
ロングスカート、エプロン、マフラーなど昇り降りや作業中に製品に引っ掛かったり、すそを踏みつける恐れがある服装で使用しないで下さい。
必ずヘルメット、安全靴などの安全具を着用し、作業に適した服装で使ってください。
- **作業を行うときは、手袋を必ず装着してください。**
ヒンジ(回転金具)の回転部分などで手を挟む恐れがあります。
- **はしごで使うときは、必ず大人の補助者がはしごを支えてください。**
補助者がはしごを支えないと、転倒や転落の恐れがあります。
使用中は、はしごを支える補助者以外の人は近づけないでください。
- **最大使用荷重の範囲を守ってください。**
体重と荷物の合計質量が、最大使用荷重を超えるときは、使わないでください。
荷物は身体安定が保てる程度の重さにしてください。
- **はしご兼用脚立を加工や改造しないでください。**
この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸し出してください。
取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解のうえ使うように指導してください。

2. ご使用前に



警告

- **使う前には、必ずご使用前の点検を行い、異常がないことを確認してください。**
異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。
- **変形したはしご兼用脚立を、使わないでください。**
曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。
したがって、変形した製品を修理して使いますと、折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になります。

3. 運ぶときは



警告

- **トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引っ張らないでください。**
製品に亀裂が入り、使用中に折れて転落する恐れがあります。

注意

- **持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。**
乱暴に扱うと、変形やへこみ、破損の原因になります。

4. 設置する場所について

危険

- **設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。**
この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。



警告

- **はしごや脚立が安定しない地面や床には、設置しないでください。**
地面や床が下記の状態では、はしごや脚立が傾いて転倒や転落の恐れがあります。
 - ・やわらかい地面で、はしごや脚立が埋もれていく場所。
 - ・はしごで使うとき、支柱の片側が砂利、もう一方がコンクリートなど、左右の硬さが違う場所。
 - ・その他、安定しない場所。
- **地面や床が滑りやすい場所には、設置しないでください。**
地面や床が下記の状態では、転倒や転落の恐れがあります。
 - ・滑りやすいビニール製の床・タイル・鉄板の上。
 - ・濡れている床。
 - ・積雪や凍結している場所。

- ・砂・ごみ・ほこり・落葉などで滑りやすい地面や床。
- ・その他、滑りやすい場所。

●人の出入口やドアの前には、設置しないでください。

出入りする人や開けたドアで、はしごや脚立が倒されて転倒や転落の恐れがあります。

●雨の中や風の強い場所には、設置しないでください。

濡れた踏ざんで滑ったり、強い風を受けて身体のバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

●足元や周囲がはっきりと見えない暗がりには、設置しないでください。

足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。

5. はしごや脚立にするとき



警告

●ロックを確実に掛け、固定していることを確認してください。

ロックの掛かりが不十分で使うと脚が開閉し、転倒や転落の恐れがあります。

しっかりと固定してください。

●脚立を開くとき、ヒンジ(回転金具)の回転部で、手をはさまないように注意してください。

けがをする恐れがあります。

6. 脚立状態で設置するとき



警告

●脚立を高くするために、脚立にパイプや木などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動して、転倒や転落の恐れがあります。

7. はしご状態で立て掛けるとき

危険

●はしごの立て掛け角度は、約75度にしてください。

はしごを立てすぎると倒れ、ねかせすぎると滑りますので、転倒や転落の危険があります。



警告

●はしごの周囲は整理整頓してください。

万一の転倒・転落事故に備えて、危険なものはかたづけしてください。

●はしごと建物の接点は、最上段と2段目の踏ざんの間が理想的です。

はしごを建物の接点から長く出しすぎると、はしごから屋根に乗り移るとき、転倒する恐れがあります。建物の高さにあったはしごをお使いください。

やむをえず、長く突き出るときは、補助者が特に注意してはしごを押さえ、はしごの上の作業者は接点より上の踏ざんや支柱に体重をかけないでください。

●はしごを水平にして、正規の使い方以外に足場板や足場台に使わないでください。

足が滑ったり製品の破損によって、転倒や転落事故を起こす恐れがあります。

●はしごを長くするために、別のはしごやパイプ・木などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動して、転倒や転落事故を起こす恐れがあります。

●建物のはりや突き出た壁に、はしごの先端を立て掛けて使わないでください。

はしごのしなりや滑りによって、はしごの先端が外れ、転倒や転落する恐れがあります。

●脚立を折りたたんだまま、建物に立て掛けて使わないでください。

安全が確保できないため、転倒や転落事故を起こす恐れがあります。

注意

●電柱や共架柱に立て掛けるときは、必ず電柱抱付バンドを使用してください。

踏ざんが直接あたると、はしごが不安定になり、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

8. 脚立状態で昇り降りや作業するとき

危険

●天板の上には、絶対に乗らないでください。

バランスをくずして、転倒や転落する危険があります。

高さが2.1m未満の場合には二段目の踏ざん、高さ2.1m以上の場合には三段目の踏ざんで使用してください。



警告

●同時に2人以上乗らないでください。

脚立が不安定になり、転倒や転落する恐れがあります。

●脚立を背にしたり、手放して昇り降りしないでください。

身体が不安定になり、転倒や転落する恐れがあります。

●脚立の支柱から身体を乗り出して、作業しないでください。

身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落する恐れがあります。

●身体の安定が得られないような荷物を持って、昇り降りしないでください。

バランスをくずして、転倒や転落する恐れがあります。そのような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手両足が使える状態にしてください。



警告

●脚立は静かに昇り降りし、脚立の途中から、飛び降りたりしないでください。

障害事故の恐れがあります。

降りるときは、最下段の踏ざんまで使って静かに降りてください。

●作業中、脚立の上で壁や物を無理に押ししたり、引いたりしないでください。

無理に押ししたり、引いたりすると、反動で脚立が不安定になって、横転しやすくなります。

9. はしご状態で昇り降りするとき

- 危険**
- はしごから屋根、屋根からはしごに乗り移るときは、特に大人の補助者がしっかり押さえて、転倒を防止してください。
はしごがずれて不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。
 - はしごと建物の接点より上に、体重をかけないでください。
はしごの接地側が持ち上がって不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。
 - 建物の壁に、はしごの端を立てかけた状態で、はしごの先端から屋根に乗り移らないでください。
そのような状態で乗り移ると、身体のバランスをくずし、転落する危険があります。



- 警告**
- 屋根の上からはしごを移動させないでください。
身体のバランスをくずしたり、接地面が不安定になって、転倒や転落する恐れがあります。
 - 同時に2人以上乗らないでください。
はしごが不安定になり、転倒や転落する恐れがあります。
 - はしごを背にしたり、手放して昇り降りしないでください。
身体が不安定になり、転倒や転落する恐れがあります。
 - 支柱から横に身体を乗り出して、作業しないでください。
身体を乗り出すとバランスをくずし、転落する恐れがあります。
 - 身体の安定が得られないような荷物を持って、昇り降りしないでください。
バランスをくずし、転倒や転落する恐れがあります。そのような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手両足が使える状態にしてください。
 - 作業中、はしごの上で壁を無理に押ししたり、引いたりしないでください。
壁などを無理に押ししたりすると、その反動ではしごが立ち上がり、転倒や転落する恐れがあります。

- 注意**
- はしごは静かに昇り降りし、はしごの途中から、飛び降りたりしないでください。
傷害事故の恐れがあります。降りるときは、最下段の踏ざんまで使って静かに降りてください。

◆仕様

品番	保管状態	脚立での使用	伸ばして使用
EA905EC-210A	1.4m	1.2~2.1m	2.7~4.5m
EA905EC-270A	1.7m	1.5~2.7m	3.3~5.7m
EA905EC-330A	2.0m	1.8~3.3m	3.9~7.0m

品番	W	D	重量
EA905EC-210A	600mm	820~1310mm	14.2kg
EA905EC-270A	690mm	1020~1800mm	17.2kg
EA905EC-330A	750mm	1210~2120mm	22.4kg

- ・最大使用荷重…135kgf
- ・アルミ合金製
- ・キャスター付

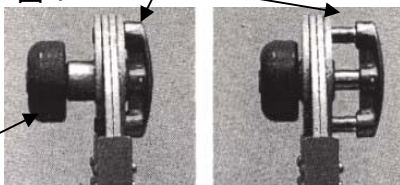


◆使用方法

- A ロックを操作する事により、はしごの形を変える事ができます。
1. ボタンをロックが外れるまでまっすぐに押しして下さい。(図1)
- 注意** ロックのピンに圧力がかかっていると、ロックは外しにくくなります。
はしごを揺すって圧力を緩めて下さい。
ロックのピンに圧力がかかりすぎるとロック機構が破損する恐れがあります。
2. 自動的にロックがはまるまで、はしごを広げて脚立にして下さい。(図2)
 3. サイドにある4カ所のロックを外して脚を広げるとまっすぐに伸ばせます。(図2)
 4. 保管時の状態に戻すには逆の手順で調整して下さい。

図1

ロック



ボタン

図2

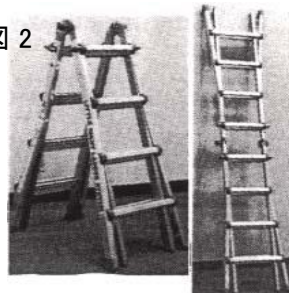
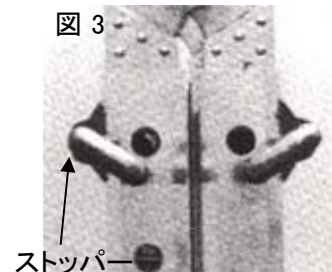


図3



ストッパー

B 脚立での使用時の高さ調整

1. ボタンを押して脚立の脚を閉じてください。(図1)
 2. 両サイドのロックを4カ所とも外して下さい。(図3)
 3. 内側のはしごをご希望の長さに伸ばして下さい。
 4. ご希望の長さで外側のはしごの穴と内側のはしごの穴とを合わせて下さい。
(梯子の段部分をそろえるようなイメージ)
 5. 片手でその状態に支えながら、もう一方の手でストッパーをはめて下さい。(図4)
 6. 逆側のストッパーも同様にして下さい。
 7. はしごを広げて脚立にして下さい。
- 注意:** 内側のはしごを支えずに4つのストッパーを引き抜かないで下さい。
はしごが地面に滑り落ちます。

C 伸ばした状態での高さ調整

1. 脚立の状態、ボタンを押して、はしごを広げて下さい。
2. はしごの上半分のストッパーを外して下さい。
3. 外側のはしごを握り、後ろに歩きながら高さを調節してください。さらに伸ばしたい時は下半分も同様にして下さい。(図5)
4. はしごを縮める時は逆の手順で縮めて下さい。

注意: 外側のはしごを支えながらストッパーを解除して下さい。

図 4



図 5



D 段差のある場所での使用

1. はしごを調整して下さい。(B参照)
2. はしごがつりあうように調整して下さい。

この製品ははしごを分けて2台の脚立として、使用することが可能です。必要に応じて、下記の作業を行ってください。

E はしごを2つに分ける場合

1. 両サイドのロックを外して梯子を引抜きます。(図6)
2. 付属のアタッチメントを引抜いた方の頭部分に取り付けます。(図7)
3. もう一方も同じようにして取り付けます。(ステップ部分が外側になるように取り付けてください。)(図8)
4. アタッチメントを使用しないときは付属のヒモではしごにかけておけます。(図9)

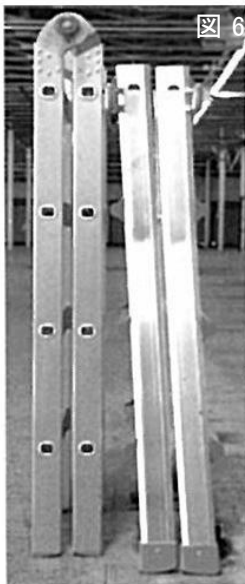


図 6



図 7



図 8



図 9

◆メンテナンス

1. 円滑な使用を継続するために、6ヶ月ごと、または長期の保管の前に粘度の低いオイルをロックとストッパーに少量注油して下さい。また、悪天候での使用時や必要に応じて注油して下さい。
2. はしごは乾燥した場所に保管して下さい。はしごが長持ちします。
3. はしごがスライドしやすいようにレールは清潔に保って下さい。
4. ロックの性能を低下させるような塩類を含むスプレーや、その他不純物などで汚れないように注意して下さい。
5. 安全のため、内側を縮めて保管して下さい。
6. 使用前には各部が正しく機能しているか確認して下さい。

株式会社 エスコ

本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14

TEL (06)6532-6226 FAX (06)6541-0929

17.Feb.